

ORA-00020 最大プロセス数を超えました

バックグラウンド・プロセスとサーバー・プロセスを合わせた
最多プロセス数の上限設定の表示

現在起動しているプロセス数

オラクルが起動してからの最多プロセス数の到達値

現在起動しているプログラム（プロセス）とその起動数

現在起動しているプログラム（プロセス）とその実行 SQL の表示

バックグラウンド・プロセスとサーバー・プロセスを合わせた最多
プロセス数の上限設定値の変更方法

（初期化パラメータの設定変更方法）

バックグラウンド・プロセスに関する最多起動可能上限の
設定値の情報表示

バックグラウンド・プロセスの用途別最多プロセス数の上限設定値
の変更方法（初期化パラメータの設定変更方法）

ORA-00020 最大プロセス数を超えました

ERROR :

ORA-00020 : maimum number of processes (150) exceeded

バックグラウンド・プロセスとサーバー・プロセスを合わせた最多プロセス数
の上限設定

show parameter processes

NAME	TYPE	VALUE
aq_tm_processes	integer	0
db_writer_processes	integer	1
gcs_server_processes	integer	0
global_txn_processes	integer	1
job_queue_processes	integer	1000
log_archive_max_processes	integer	4
processes	integer	150

最大プロセス数

150 個目の起動がエラーとなる設定

現在起動しているプロセス数

```
select count(*) from v$process ;
```

```
COUNT(*)
```

```
-----
```

```
149
```

オラクルが起動してからの最多プロセス数の到達値

```
select resource_name, current_utilization, max_utilization, limit_value from
v$resource_limit where resource_name = 'processes' ;
```

```
RESOURCE_NAME  CURRENT_UTILIZATION  MAX_UTILIZATION  LIMIT_VALUE
```

```
-----
```

```
processes                120                160                200
```

```
設定項目                現在の起動数                最大起動数                設定値
```

現在起動しているプログラム（プロセス）とその起動数

```
select program, count(*) from v$process group by program ;
```

```
PROGRAM                                COUNT(*)
```

```
-----
```

```
PSEUDO
```

```
oracle@oracle1.xxxx.xxxx( SMON )                1
```

```
oracle@oracle1.xxxx.xxxx( MMLV )                1
```

```
・
```

```
・                バックグラウンド・プロセスが表示される
```

```
・
```

```
oracle@oracle1.xxxx.xxxx( LGWR )                1
```

```
oracle@oracle1.xxxx.xxxx( CJQ0 )                1
```


```
oracle@oracle1.xxxx.xxxx( TNS V1-V3 )            120                接続が多いアプリケーション
```

```
oracle@oracle1.xxxx.xxxx( J001 )                1
```

```
oracle@oracle1.xxxx.xxxx( DBRM )                1
```

現在起動しているプログラム（プロセス）とその実行 SQL の表示

```
select s.sid, s.username, p.pid, p.spid, s.program, a.sql_text
  from v$session s, v$process p, v$sqlarea a
 where s.paddr = p.addr
       and (s.sql_id = a.sql_id or s.prev_sql_addr = a.address)
       and (s.sql_hash_value = a.hash_value or s.prev_hash_value = a.hash_value)
       and p.pid in
       (select pid from v$process where program like '%TNS V1-V3%')
       and s.audsid != USERENV('SESSIONID') ;
```



ここは、上で確認したプログラム

項 目 名	出 力 内 容	出力例
SID	セッション ID	140
USERNAME	Oracle ユーザー名	KOZUE
PID	プロセス ID	31
SPID		20257
PROGRAM	プログラム名	kz@oracle.xxx.xx(TNS V1-V3)
SQL_TEXT	SQL 文の内容	select * from TRNS_Table

（初期化パラメータの設定変更方法）

バックグラウンド・プロセスとサーバー・プロセスを合わせた

最多プロセス数の上限設定値の変更方法

```
alter system set processes = 200 scope = spfile ;
```

Oracle インスタンスの再起動を行う

バックグラウンド・プロセスに関する最多起動可能上限の設定値情報表示

```
show parameter
```

NAME	TYPE	VALUE
-----	-----	-----
max_dispatchers	integer	10
max_shared_servers	integer	20
parallel_max_servers	integer	20
log_archive_max_processes	integer	6

(初期化パラメータの設定変更方法)
バックグラウンド・プロセスの用途別最多プロセス数の上限設定値の変更方法

```
alter system set パラメータ名 = 設定値 scope = spfile ;
```

Oracle インスタンスの再起動を行う

バックグラウンド・プロセスの起動に失敗した場合は、アラート・ログに ORA-00020 が表示され、トレース・ファイルが出力されます

バックグラウンド・プロセス名が表示されるので、そのバックグラウンド・プロセスに関連した初期化パラメータ項目を変更する必要があります

```
ORA-00020 No more process state objects available
ORA-20 errors will . . . . .
```

アーカイバ・プロセスに関するエラーが発生



```
Process ARC4 submission failed with error = 20
Errors in file /oracle/ora11g/. . . . /trace/ora11g_arc0_6278.trc ;
```